

バイオマスタウン構想

国では、バイオマス（）を利用し、地球温暖化の防止や循環型社会の構築を目指すバイオマス・ニッポン総合戦略を示しました。これを実現するため、地域のバイオマスを総合的・効率的に活用するプランが「バイオマスタウン構想」です。

市では資源循環型処理施設・美サイクル館と地元企業が開発した多目的材料変換システム(MMC)を核とした構想を国に提出し、第1回目として公表されました。バイオマスとは、紙、木材、下水汚泥、もみ殻等の再生可能な生物資源を指します。

自主防災組織

自主防災組織とは、地域の人々が、自発的に防災活動を行う組織です。

「自分達の地域は、自分たちで守る」という連帯感に基づいて、地域住民が団結し、対応できる協力的体制づくりを目指します。災害時には、被害を最小限に抑えるため、住民が力を合わせて初期消火や避難誘導等の活動を行います。

留萌市では、「自主防災組織をつくるう！」を合言葉に、住民合同説明会を行っており、今年の5月頃には、「自主防災組織町内担当者会議」の開催を予定しています。

指定管理者制度

指定管理者制度は、「公共の施設」の管理を、法人その他の団体が代行することで、これまででは、委託先が公共の団体(財団や公社)に限定された「管理委託制度」を用いていましたが、平成15年9月に地方自治法の一部が改正され、「指定管理者制度」が作られました。これにより、よりよいサービスを提供するため、民間、NPO法人、ボランティア団体などへの代行も可能となり、広く公募することができま。

留萌市では、勤労福祉センターや東部地区公民館がこの制度を用いています。

事務事業評価

事務事業評価とは、限られた財源と人材を有効に活用し、効率的で質の高いサービスを提供するため、市民は何を求めているのか、「行政の果たすべき役割は何か」などの観点から、行政が行うべき事業(仕事)を見直すものです。

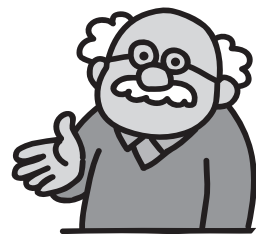
留萌市では、平成11年度から、試行的に取り組みをはじめ、平成16年度の事務事業評価の結果は、新年度予算編成や総合計画の実施計画に反映されることも、評価システムにより、計画 実施 評価 改善という行政サイクルの確立を目指します。

まちづくり講座

気になる用語を解説します。
～知っておきたい気になる用語～

これからのまちづくりのキーワード？

最近、よく耳にしたり、目にしたりする言葉の中に、わたしたちのまちにも関係のある用語がたくさんあります。



地域通貨

地域通貨は、互いに支えあうサービスや行為を、地域やコミュニティ独自の紙幣などに置き換え、通貨としてサービスやモノと交換して循環させるシステムのことをいいます。

北海道内では、43団体が実施し、留萌管内では、増毛町・苫前町が実施しています。地域通貨には、紙幣、チップ、借借書方式などがありますが、留萌市では、参加者が通帳を持つ通帳方式を採用する予定です。今後は、複数の町内会をモデルに試行し、地域通貨を広げていきたいと思っています。

第5次総合計画

H19年度からはじまる第5次総合計画(H17・18年度で策定)は、成果指標をもとに、市民の満足度を高めることを基本にする予定です。そのため、計画を作る段階から市民が参加し、実施の段階では、市民と市役所が協働で行っていきます。

地方分権や三位一体改革により、自治体の役割が大きく変わるつととしているときに、今後の財政運営と歩調を合わせながら、市役所の仕事の範囲とサービス水準を見直すことが次期計画のポイントです。

対岸貿易

対岸貿易は、対岸貿易促進中期行動計画に基づき、留萌港を活用した諸外国との貿易・交流の実現を図るものです。

現在、諸外国のなかでも台湾とロシア・サハリン州との貿易について調査・検討しているところです。今年9月には、ロシア・サハリン州において、留萌地域や背後圏の特産物、技術、観光資源等を紹介する「るもい展」を開催する予定です。台湾は、農・水産物の輸出について調査研究を進めており、国の支援する、都市再生モデル調査の一つに選ばれています。

次世代育成支援行動計画

次世代育成支援行動計画とは、少子化対策として、「新エンゼルプラン」に代わる新たな計画のことです。「次世代育成支援対策推進法」が成立し、従来の仕事と子育ての両立支援のほかに、子育て家庭などに対する様々な取り組みを平成17年度より全国一斉に実施することとなっています。

留萌市においても市民へのニーズ調査や有識者などの意見を聴きながら、計画を策定しています。ファミリーサポートセンター事業への支援や子育て支援ネットワークづくりなどに取り組みします。

問合せ先

キーワード	担当部署名(電話番号)	
バイオマスタウン構想	美サイクル館	46 - 1600
自主防災組織	総務行革課	42 - 1801
地域通貨	市民サポートグループ	42 - 1902
第5次総合計画	企画調整グループ	42 - 1809
指定管理者制度	総務行革課	42 - 1801
事務事業評価	企画調整グループ	42 - 1809
対岸貿易	経済振興グループ	42 - 1840
次世代育成支援行動計画	児童家庭課	42 - 1808



サハリン州・コルサコフ港(対岸貿易)

留萌市が提出したバイオマスタウン構想は、下記に公表されています。
バイオマス情報ヘッドクォーターHP⇒www.biomass-hq.jp/